

## 調査解析 2

### 琵琶湖・瀬田川プランクトン等モニタリングと植物プランクトン遷移の現状評価

#### 【研究概要】

琵琶湖流域における健全な水環境の保全・再生のために、水圏生態系の基礎をなすプランクトンの継続的なモニタリングを行うことで、琵琶湖の変化を迅速に捉えるとともに、瀬田川プランクトン速報等による情報発信を行います。また、これまで蓄積したデータを活用し、琵琶湖における植物プランクトンの経年変化、水質、気象等との関係性の解析を行い、プランクトン相から見た琵琶湖の現況評価や今後の課題整理を行います。さらに、西の湖におけるアオコ形成プランクトン等のモニタリング調査を実施して、西の湖のアオコ発生抑制や水質改善の対策に寄与します。

#### 【サブテーマ】

- ①琵琶湖・瀬田川プランクトン等モニタリング調査
- ②琵琶湖における植物プランクトン遷移の現状評価
- ③西の湖アオコ原因プランクトン調査

#### 【現状・課題】

- ・プランクトンの大量発生やそれに伴う利水障害、生態系への影響
- ・気候変動等による植物プランクトン群集の変化



#### 【課題解決に向けて】

##### ① プランクトン等情報の定期的な収集

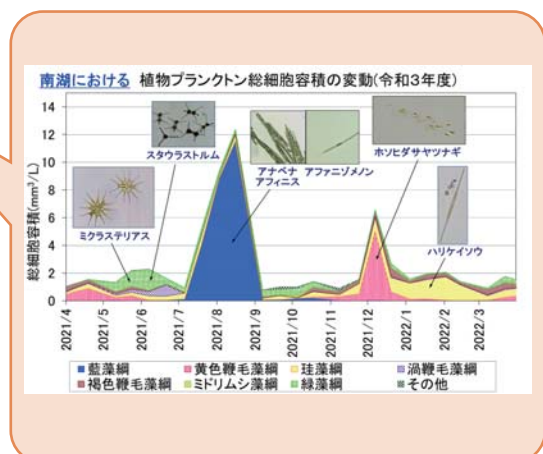
- ・琵琶湖における水質や生態系の変化を捉えるためのプランクトン等のモニタリングを琵琶湖および瀬田川で実施

##### ② 植物プランクトンの遷移の評価

- ・南湖の植物プランクトンの季節変化パターン分類、植物プランクトンと環境要因との関係を解析

##### ③ 西の湖のアオコの原因プランクトンの調査

- ・定点による定期的なアオコ原因プランクトン調査の実施



- ・プランクトン異常発生の監視および水質評価のための継続的なデータの蓄積を行う。
- ・県民や水道事業者等へプランクトン発生状況やかび臭物質の情報提供を行う。
- ・プランクトンの発生状況から水質の変動を評価する。